

「歴史的建造物を守る一地域に家守を育てる」



日時 2021年 1月23日 土曜日
13:00~17:00 (受付12:45~)

講師 菅澤 茂 先生
元京都府教育庁文化財保護課 専門幹
鹿児島・鶴丸城 御楼門復元プロジェクト顧問
寺嶋ちはる 先生
京都府大山崎町文化財担当者・(大山崎文化財NPO代表)
寺島とーじ 先生 (造形作家)

対象 興味のある方は、どなたでも。学生さんもOK
料金 ※定員 40名(先着順)
参加費無料(見学費110円は、各自負担してください)

会場 受付・講習会会場
早鈴自治公民館 (都城市早鈴町19街区)
※会場は、靴を脱いで頂きますので、
各自スリッパ等をご持参下さい。

見学会会場
都城島津邸 本宅 国登録有形文化財
(都城市早鈴町18街区5号)

スケジュール(予定)
13:00~14:00 開会・都城島津邸 見学
14:00~16:50 講習会
16:50~17:00 事務連絡・閉会

都城島津邸 本宅

明治2年の版籍奉還後、

都城領主 島津久寛(しまづ ひさひろ)は鹿児島に移りました。
その際領主館は、都城のために使ってもらうことにして委譲しました。
その後、西南戦争も終わり、世の中が落ち着いてくると、
都城の人々から久寛に都城に帰ってきてくれるよう働きかけが起こります。
久寛は明治12年に都城に帰り、早鈴の吉井崎の早鈴神社があった
土地の提供を受けて、そこに居宅を構えました。これが都城島津邸です。
昭和10年の陸軍大演習が都城で行われるのに伴って新たに建築、
閑院宮が宿泊されました。昭和29年に2階部分を増築。
昭和48年の植樹祭にご来県された昭和天皇、皇后両陛下が都城島津邸に
ご宿泊されたが、そのために前年の47年に改築が行われました。
現在の島津邸には、天皇皇后両陛下がご宿泊になった部屋とベッド、大理石
の浴室、休憩室その他ご使用になった道具類が大切に保存されています。
都城島津家に伝来されてきた史資料は都城市に寄贈され、邸宅は都城市が購入
平成20年には邸宅の内、登録文化財に8件が指定されています。

※ひむかヘリテージ機構では、会員を募集しています。
年会費無料、入会金3,000円です。
講習会当日も入会できます。



主催 一般社団法人 宮崎県建築士会
共催 ひむかヘリテージ機構
後援 宮崎県・宮崎県教育委員会

お問い合わせ 一般社団法人 宮崎県建築士会
TEL 0985-27-3425
FAX 0985-27-3698
お申し込み ひむかヘリテージ機構
Email: info.hho.2018@gmail.com
TEL 0985-27-3425 でも可 (担当者より折り返しご連絡します)

※本年度の講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止策、感染リスクの低減策を実施します。

マスク着用、アルコール消毒、検温、連絡先の記入等、皆様のご理解とご協力をお願い致します。
尚、講習会は感染拡大状況により、中止となる場合もあります。